

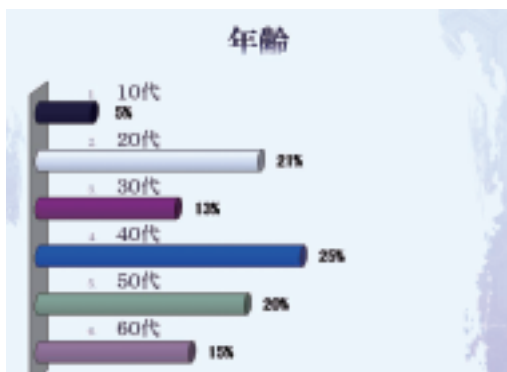
クリッカー(大教室授業等の応答システム)を貸出します

クリッカーとは、オーディエンス・レスポンス・システム(ARS)、すなわち「講義者と学習者の双方向コミュニケーションを可能にするコミュニケーションツール」の1つです。学生がテレビリモコンのようなカード端末(レスポンスカード)のボタンを押すと、回答結果が集計されてリアルタイムにパソコンの画面に表示されるというシステムです。アメリカなどでは、大学における大人数の講義などにおいてかなり普及しています。

大学コンソーシアム石川には、340台のレスポンスカードと、4台の受信機が用意されています。ご希望があれば、授業や講演会・セミナーへの単発の貸し出しだけでなく、1学期間にわたる長期の貸し出しにも対応します。

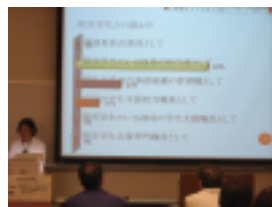
クリッカーの貸し出しを希望する方は、大学コンソーシアム石川のホームページから、施設情報>機材の貸し出しへとすすみ、「貸出許可申請フォーム」で申し込んでください。

詳しくは、e教育支援センターにご相談ください



◀回答を集計

クリッカーを使った授業風景



●クリッカーの使い方

【必要なもの】

Windows PC、PowerPoint 2007（または2003）、受信機 1個、受講者数ぶんの送信機、TurningPoint 2008（PowerPointの拡張機能として無償ダウンロード可能）



【事前準備】

1. TurningPoint2008をメーカーサイトからダウンロードし、自分のPCにインストールします。
2. TurningPoint2008を使って、集計機能を付与したPowerPointスライドを作成します。すでに多岐選択問題のひな形が登録されていますので、通常のスライドを編集する操作とほとんどかわりません。
3. 受信機を自分のPCにつなぎ、ドライバをセットアップします。
4. 送信機を配布して、準備完了です。

自分のPCへのセットアップ補助、スライドの作成方法のチュートリアル、使い方 のデモンストレーションを、e教育支援センターで行っています。詳しくは、担当者までお問い合わせ下さい。

